

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成17年7月28日(2005.7.28)

【公開番号】特開2003-187944(P2003-187944A)

【公開日】平成15年7月4日(2003.7.4)

【出願番号】特願2001-402564(P2001-402564)

【国際特許分類第7版】

H 0 1 T 13/40

F 0 2 P 13/00

H 0 1 T 13/04

H 0 1 T 13/06

H 0 1 T 13/28

H 0 1 T 13/32

H 0 1 T 13/38

【F I】

H 0 1 T 13/40

F 0 2 P 13/00 3 0 1 J

F 0 2 P 13/00 3 0 3 D

H 0 1 T 13/04

H 0 1 T 13/06

H 0 1 T 13/28

H 0 1 T 13/32

H 0 1 T 13/38

【手続補正書】

【提出日】平成16年12月10日(2004.12.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

内燃機関シリンダー内の燃料点火用点火プラグであって、

a)上方取付六角体部分、前記六角体部分に隣接した座部分、及び、普通の燃焼シリンダーヘッドに合うように下方部分としてのねじ部分を有する、導電性材料のほぼ円筒形の外側本体と、

b)上端に抵抗コネクタを有し、前記外側本体の中心軸線に沿って位置し、ほぼ円筒形態を有し、前記本体より実質的に上に延びる上方部分を有し、前記本体を貫いて延び、火花ギャップで終わる、陽極と、  
を有し、

c)前記本体の前記ねじ部分は、その下端に取付けられ且つ前記陽極に向かって延びて前記陽極との間に調整可能な火花ギャップを残す少なくとも1つの陰極を有し、  
さらに、

d)前記本体と前記陽極を分離し、長さが前記陽極に沿って前記抵抗コネクタまで延びる、任意適当な絶縁材料の誘電性絶縁体と、

e)円筒形陰極板からなり、前記陽極に沿って延び、且つ、前記陽極から間隔を隔てられ、前記外側本体の延長部であり、外側絶縁体内に位置し、且つ、前記誘電性絶縁体によって前記陽極から間隔を隔てられた容量性要素と、

を有し、

f)前記誘電性絶縁体は、前記火花ギャップ及び前記抵抗体コネクタを除いて、前記陽極を完全に囲う、

内燃機関シリンダー内の燃料点火用点火プラグ。